

平成 25 年 5 月 23 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 酒井 睦夫 様

議会報告会	1 班
班長 青野	直
	植田 和子
	中村 彰男
	西川 誠之
	松尾 澄子
	松田 浩三
	松野 豊

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成 25 年 5 月 19 日 (日)  
午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分
- 2 場所 十太夫福祉会館
- 3 欠席議員 なし
- 4 参加者数 議員 7 人、手話通訳・要約筆記 5 人、その他 34 名  
(筑波市議会議員 13 名の傍聴含む)
- 5 報告内容  
高齢者問題について
- 6 意見交換内容

◆高齢化の問題について

特養老人ホームについて

- ・安心して安く入れる様な低所得者のための特養老人ホームの整備を議会として努力して欲しい。

民生児童委員について

- ・民生児童委員についての仕事が多い。個人情報保護の観点から対象者の把握に困っている状況である。
- ・民生委員は無報酬とあるが本当のところはどうか。
- ・3年に1回改選されるがこのところなり手がなくて困っている状況と聞いている。実情はどうか。
- ・民生委員は社会福祉協議会の監視下で活動しているが、もっと支える必要がある。
- ・議会でもあまり民生委員のことは聞かない。考えて欲しい。
- ・民生委員も高齢化して助けてもらう立場にある現状についてどう考えるか。
- ・民生委員の仕事が多すぎる。市での管理は誰が遣っているのか
- ・企業に対する赤い羽根募金の集金を民生委員に遣らせている事例があった。社会福祉協会が民生委員の長に頼んだことが代々続いているようだ。
- ・地域の見守り対象者が781人の申請が会った。情報を自治会に流してよいかどうかの承諾書を取るのが民生委員、しかも毎年更新。ここ状況を市に言ってもピンとこないし対応がバラバラ。社協があるからか。
- ・自分の対象者を把握するために市は対象者を台帳から抽出し社協を通して民生委員の地区の長に渡し、コピーをとってはいけないという通達のもと、民生委員は自分の受け持ちの対象者を手書きで作っている。  
民生委員は良いように使われており、市の担当者は前任者から受け継いでいるだけですか。
- ・民生委員が本来の仕事が出来るように民生委員がどんな

ことを遣っているのか実態を調べていただきたい。

- ・ 民生委員は300から500人くらいを対象としている名簿の配布も無い。名簿には旦那さんと奥さんの名前も揃っていない。いまのIT時代に手書きではミスもある。おおたかの森などのマンションでは把握も難しい、ここに来る前に常盤平に住んでいたが孤独死が増えている。流山市もきめ細かな対応が必要となる。
- ・ 活動費については若干出ているが会議への足代やコピー代、通信費が中心で余ることは無い。議会でも実態を掌握して欲しい。

#### ◆ フリーテーマ

- ・ 雨よるこび。農家は雨が降ったら作物の生育によい影響があって喜ぶしいが、この地域では雨が降ると工事現場からの粉塵が舞わなくて喜ぶしい。市でもこの状況を考えて欲しい
- ・ 公園が少ない大堀川も公園として面積に入っている。北口、東口には特に少ない。URは開発面積を多くして売って儲ける。新しい地区に住民が来て良かったと思える街に市議会も取り組んで。
- ・ 開発地のあちこちが工事中のため行き止まりが多い。尋ねてきた人がいつも迷子になるといわれる。対策を検討して欲しい。
- ・ 老人の医療費の抑制について。保険料を払っていても給付を受けていない人が多数いる。健康を保つようにインセンティブを考えて抑制を考えてはどうか。
- ・ 水道局から東武鉄道を抜ける32メートル道路の完成時期はいつか。
- ・ 西口駅前の完成状況と、旧日光街道の現在の自動車の通行止めの状況の今後の見通しはどうか。
- ・ 北口についてはタウンミーティングのときにホテルの誘致をお願いしたが、街づくりを先導するためにもビジネ

スホテルが欲しい。

- ・ 病院にいったら、来なくてもいいと想う人が沢山いる。税金を喰っているんだなと思う。健康のために悠々大学に入ったら良いのになと思う。よろしく。
- ・ 流山市デフ協会の方から。タウンミーティングのときにも指摘したが福祉会館にはいるときインターホンの対応が未だにバリアフリーになっていない。協力をお願いしたい。
- ・ デフ協会は25人の会員がいるが半数以上が65歳以上で今後の対応に心配がある。コミュニケーションが取れる施設の配慮を協力願いたい。
- ・ 防災行政無線について。市内で何かがあったとき防災行政無線が流れるが一般の方は聞き逃した場合電話で聞くことが出来ます。聴覚障害者はどうか、野田市では防災無線のとき電子的に文字化される機械が貸与されている。流山でもお願いしたい。
- ・ 小中併設校は50クラスもあり膨大な費用をかけるマンモス校である。運動会も1日では出来なくなる。反面、若者の雇用が不安定である。結婚して子どもを育てるのに不安である。正規社員も解雇できる法案もありマンションも空き室が出来ると不安もある。議会内で討議して適性に縮小するなりお願いしたい。
- ・ 市役所が現在のところにあるのがベターなのか、考えて欲しい。高齢化に向けておおたかの森やセントラルパークなどに複合施設等と分所化することを協議して欲しい。
- ・ 福島原発事故から2年帰るに帰れない避難者や、原木椎茸、たけのこなどの食の安全、除染の後などについて課題が残っている、議会内ではどうか。

## 7 参加者から議会への要望

意見交換でやり取りした内容について後日報告して欲しい。

## 8 所感

今回意見交換の司会を市外の第3者をお願いした。  
このことから質問事項の適切な整理や、発言の長い方の途中での制止などが議員では出来にくかったところを行っていただいたことが、時間配分等に良い影響があった。

住民との意見交換も過去の議会報告会の経過と比較して議員に対して対決姿勢で望む市民が居なかった。7回目にして議員と市民の意見交換が少しかみ合った感がある。

今回は、初めて障がい者に配慮した運営を行ったが、障がい者の高齢化についても課題があることが示された。

## 9 その他

今回、障がい者に配慮した手話通訳と要約筆記及び難聴者対策として磁気ループの運営を行ったことは前記しているが、今後の参考に、障がい者支援課の手話通訳の方からいただいたアドバイスを以下報告書に記しておくこととします。

---

手話の方に配慮して、話すスピードを遅くしたほうが良いか？  
手話の場合は、ゆっくり話すという配慮は必要ないが、  
要点筆記も入っている場合は、  
ゆっくりハッキリ話していただいたほうがありがたいです。  
また、資料の「ここ」とか「あそこ」という表現は、  
なるべく避けていただき、  
可能であれば「資料の●ページの●行目に」  
という表現をしていただけるとありがたいです。  
また、資料に目を通す時間を少しとってくださると、  
視聴覚障がい者の方々も助かると思います。  
というのは、

健常者の方々は資料に目を通しながら話を聴けますが、  
障がい者の方々は資料に目を通すか手話や要点筆記に目を通すか、  
いずれかしかできないからです。

---

以上